

大阪・京都の 遺跡を読み解く 考古学研究最前線

コーディネーター

立命館大学 文学部 教授
大阪大学 大学院文学研究科 教授
立命館大学 文学部 教授
和正 藤田 章男
正己 藤巻

全8回

第1回 5月18日(月)

大阪の先史時代
-弥生文化の盛行と変質-

大阪大学文学部 准教授
元大阪大学 招聘准教授
ながとも ともこ
長友 朋子

第2回 5月25日(月)

縄文時代の京都

立命館大学文学部 教授
やの けんいち
矢野 健一

第3回 6月1日(月)

卑弥呼時代の大阪

大阪大学大学院文学研究科 教授
ふくなが しんや
福永 伸哉

第4回 6月8日(月)

平安京前夜
-割拠する古墳時代の首長たち-

立命館大学文学部 准教授
しもがき ひとし
下垣 仁志

6月15日(月) 第5回

野中古墳と河内政権

大阪大学大学院文学研究科 助教
なか ぼ たつお
中久保 辰夫

6月22日(月) 第6回

瓦からみた平安京

立命館大学文学部 教授
こ しょうぶん
高 正龍

6月29日(月) 第7回

土器からみた平安京

大阪大学大学院文学研究科 教授
たかはし てるひこ
高橋 照彦

7月6日(月) 第8回

京都の近現代を考古学する
-伝統工芸と戦争を中心に-

立命館大学文学部 教授
きだち まさあき
木立 雅朗

京都は千年の都として知られ、大阪にも古代には都が置かれています。その両地域では、都となる以前から現代にいたるまで、長い歴史の営みがあります。そのような歴史を明らかにするには、文字で書きとめられたものだけではなく、土に埋もれた遺跡や出土品の研究も不可欠です。大阪と京都には地下に多くの遺跡が埋もれ、その発掘調査によって過去の知られざる歴史が解き明かされています。この講座では、近年の新たな発掘の成果や、過去に出土していた文物の再評価など、いままさに考古学研究により明らかになりつつある歴史像の一端をご紹介します。謎多き大阪・京都の遺跡探訪への誘いとなることを目指します。

会場 立命館大阪梅田キャンパス(大阪富国生命ビル5階)

時間 14:00~15:40(90分の講演と10分の質疑応答)

受講料 1回 1,500円(7回以上一括申込の場合、10,000円)

定員 各回130名【先着順】※事前申込

定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。

お問合せ・お申込み先 お申込み方法は裏面をご覧ください。

立命館大阪オフィス

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階

TEL:06-6360-4895 FAX:06-6360-4894

メール:osaka-kz@st.ritsumeimei.ac.jp

※お電話でのお申し込みはできません。



アクセス 地下鉄谷町線 東梅田駅 徒歩1分 JR 大阪駅 徒歩5分
地下鉄御堂筋線 梅田駅 徒歩3分 阪急 梅田駅 徒歩5分
阪神 梅田駅 徒歩3分

第1回 5月18日(月) | 大阪大谷大学文学部 准教授 長友 朋子
元大阪大学 招聘准教授
大阪の先史時代ー弥生文化の盛行と変質ー

弥生時代に河内潟を有していた大阪では、水稻農耕が定着し、その生産基盤を基礎に集落が展開していく。やがて鉄器技術を習得し階層化も促進するが、大阪の弥生文化は古墳時代へ向かってどのように変質し、発展していくのだろうか。技術と生産に着目しつつ考えてみたい。

第2回 5月25日(月) | 立命館大学文学部 教授 矢野 健一
縄文時代の京都

日本ではじめて縄文土器の図が本に掲載されたのは、実は京都市岡崎発見の土器である。京都盆地には、数多くの縄文遺跡があり、縄文時代の村の様子を知ることのできる貴重なフィールドである。縄文の村の様子や、災害、環境変化への対応など、最新成果を交えてお話したい。

第3回 6月1日(月) | 大阪大学大学院文学研究科 教授 福永 伸哉
卑弥呼時代の大阪

日本の国の成り立ちに深くかわる邪馬台国。女王卑弥呼が生きた3世紀前半に焦点をあてた考古学の調査研究は、近年急速に進展した。河内湖デルタ地帯から大和盆地にかけて存在した諸集団の勢力関係に注目して、邪馬台国期の歴史動向を大胆に探ってみたい。

第4回 6月8日(月) | 立命館大学文学部 准教授 下垣 仁志
平安京前夜ー割拠する古墳時代の首長たちー

平安京が誕生する前に、諸王が割拠した古墳時代の京都盆地を、最近の発掘調査をふまえて解説する。

第5回 6月15日(月) | 大阪大学大学院文学研究科 助教 中久保 辰夫
野中古墳と河内政権

謎に包まれた5世紀、当時の政権中枢地をめぐる「河内政権論」は日本古代史の主要な論点の1つである。本講演では、「世界遺産暫定リスト」に記載された古市古墳群の内実を示す大阪府藤井寺市野中古墳出土品の再検討から、この論争に挑んでみたい。

第6回 6月22日(月) | 立命館大学文学部 教授 高 正龍
瓦からみた平安京

平安京の建築は現在残されていないが、遺跡から瓦などの遺物が出土し、その断片をうかがいしることができる。瓦とおしてどのようなことが分かるのか。平安京、ならびに律令国家の変遷を考えてみたい。

第7回 6月29日(月) | 大阪大学大学院文学研究科 教授 高橋 照彦
土器からみた平安京

平安京の出土品として、屋根に葺かれる瓦と並んで特に多いのが、食器類などとして用いられた土器・陶磁器である。平安京以前の都や平安時代の全国各地の遺跡などと比較しながら、土器・陶磁器類を材料にして、平安京の特質とその時代の歴史の一端を紹介したい。

第8回 7月6日(月) | 立命館大学文学部 教授 木立 雅朗
京都の近現代を考古学するー伝統工芸と戦争を中心にー

近現代考古学の視点から、京都の伝統工芸と戦争との関わりについて、学生とともに調べた成果を紹介したい。陶器製手榴弾や友禅染、防空壕など、京都に残された戦争の痕跡、伝統工芸がそれと深く関わった物的証拠は、知られざる京都の一面を物語っている。

お申込み方法

①「申込書」に必要事項を記入の上、FAX・メール・郵送、いずれかの方法で申込み先までお送りください。
※お電話での申込みはできません。
※事情により、やむを得ず、日程・テーマ・講演者などが変更になる場合がございます。

②受講申込み受付後、「受付確認書」「郵便払込票」を送付いたしますので、受講料を納付(郵便払込)願います。
※事務局窓口にて現金で納付することはできません。
※払込手数料は申込者のご負担をお願いいたします。
※いったん納付いただいた受講料は返金いたしかねますのでご了承ください。
※申込み後、二週間以上たっても「受付確認書」が届かない場合は、お問合せ先までご連絡下さい。

会場 立命館大阪梅田キャンパス
(大阪富国生命ビル5階)

時間 14:00～15:40(90分の講演と10分の質疑応答)

受講料 1回 1,500円(7回以上一括申込の場合、10,000円)

定員 各回130名【先着順】※事前申込
定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。

お問合せ・お申込み先

立命館大阪オフィス (開室時間:月～金 9:00～17:30 / 休祝日除く) ※土日祝閉室
〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階
TEL:06-6360-4895 FAX:06-6360-4894 メール:osaka-kz@st.ritsumei.ac.jp
URL http://www.ritsumei.ac.jp/osakaumedacampus/

申込書

▼希望する受講日該当欄に○印をつけてください。

全8回を受講する					
第1回	5月18日(月)	大阪の先史時代ー弥生文化の盛行と変質ー	第5回	6月15日(月)	野中古墳と河内政権
第2回	5月25日(月)	縄文時代の京都	第6回	6月22日(月)	瓦からみた平安京
第3回	6月 1日(月)	卑弥呼時代の大阪	第7回	6月29日(月)	土器からみた平安京
第4回	6月 8日(月)	平安京前夜ー割拠する古墳時代の首長たちー	第8回	7月 6日(月)	京都の近現代を考古学するー伝統工芸と戦争を中心にー

フリガナ ご氏名	性別 男 ・ 女	年齢 歳	生年月日(西暦) 年 月 日
ご住所 〒	☐ この講座をお知りになったきっかけ ☐ 立命館大阪オフィスの郵送物 ☐ 立命館Club(メルマガ) ☐ 立命館大学HP ☐ 大阪府・市の公共施設 ☐ 大阪大学21世紀懐徳堂HP ☐ 知人からの紹介 ☐ 懐徳堂記念会からの郵送物 ☐ 父母教育後援会だより ☐ 校友会報「りつめい」 ☐ 新聞広告(新聞名:) ☐ その他()		
TEL(自宅) FAX	◆今までに、立命館大阪プロムナードセミナー(木津川計講座、安斎育郎講座、大阪・京都文化講座)、または、立命館大阪オフィス講座のいずれかを受講されたことはありますか。		
TEL(携帯)	☐ 2014年度受講した ☐ 2013年度以前に受講した ☐ 今回が初めて		
E-mail			